

平成26年9月9日

杉並区議会議長
齊藤 常男 様

災害対策特別委員会
委員長 富田 たく

災害対策特別委員会活動経過報告書

災害対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 活動年月日

- (1)平成26年 5月31日 委員の派遣
- (2)平成26年 6月 9日 委員の派遣、陳情審査、報告聴取
- (3)平成26年 6月13日 正副委員長互選
- (4)平成26年 7月30日 委員の派遣

2 活動経過

(1) 5月31日

平成26年度杉並区合同水防訓練を視察するため、以下の場所に委員を派遣した。
都立和田堀公園競技場（杉並区大宮二丁目26番）

(2) 6月9日

委員の派遣

陳情審査に関連し、エネルギー問題に関する事項を調査するため、以下の場所に委員を派遣した。

旧杉並中継所（杉並区井草四丁目15番18号）

陳情審査

23陳情第7号 井草森公園ゴミ中継所跡地に発電機設置を求める事に関する
陳情

審査を行った結果、不採択すべきものと決定した。

報告聴取

ア 杉並区新型インフルエンザ等対策行動計画（案）について

新型インフルエンザ等対策特別措置法第8条に基づき、新型インフルエンザ等対策行動計画（案）を策定したとのこと。計画は、国及び東京都の計画との

整合性を保つものとし、発生した新型インフルエンザ等の特徴を踏まえて弾力的な運用ができるよう、対策の選択肢を示すものであるとのこと。対策の目的は、感染拡大を可能な限り抑制して、区民の生命、健康を守る、あるいは区民生活、経済活動に及ぼす影響が最小となるようにすることである。新型インフルエンザ等が発生した場合の体制としては、政府・都対策本部が設置されたときは、任意の区対策本部を設置するが、政府が緊急事態宣言を発令した場合は、特措法に基づく対策本部に移行すると規定しているとのこと。今後のスケジュールとしては、6月に東京都知事への報告、7月には、パブリックコメントを行い、必要な修正等を加えた後、9月の末までには計画策定予定とのこと。

イ 平成26年度東京都・杉並区合同総合防災訓練の実施について

杉並区は毎年11月に総合震災訓練を実施し、東京都も毎年区市町村と合同で総合防災訓練を実施している。今年は杉並区と東京都で自助・共助と連携をテーマとし、合同総合防災訓練を実施することとなった。日時は平成26年8月30日土曜日の午前9時から正午までを予定し、被害想定は、24年の4月に出された東京の被害想定報告書に基づき、訓練実施時期を考慮した設定を考えているとのこと。訓練内容は、地域住民の避難場所への避難訓練及び避難所運営訓練や木造密集地域における救出救助活動訓練等、8項目を想定しているとのこと。訓練会場は、都立和田堀公園会場をメイン会場とし、木造密集地域を抱えている高円寺北地区会場、災害拠点病院に隣接する桃井原っぱ公園会場の3か所で東京都と調整しているとのこと。

ウ 水害対応について

6月5日は、16時57分に大雨洪水注意報が発表され、翌6日朝の解除まで情報連絡態勢を取ったとのこと。6日の夜にも、大雨洪水注意報が発表され、情報連絡態勢で対応したが、23時39分に大雨警報が発表となり、都市型災害対策緊急部隊で87名の態勢を組み、避難所開設や地域の見回り等を実施した。翌7日朝には警報が解除となり、避難所を閉鎖し、12時15分に情報連絡態勢に移行したとのこと。8日の5時23分には、再び大雨警報が発表され、都市型災害対策緊急部隊で46名の態勢を組み、避難所開設や地域の見回り等を行ったとのこと。その後、午前中には情報連絡体制に移行し、翌9日の2時10分に注意報が解除されるまで情報連絡態勢を継続したとのこと。

エ 阿佐谷南・高円寺南地区の不燃化まちづくりについて

平成21年の防災まちづくり計画策定以降、社会資本整備総合交付金や建築物不燃化助成制度等の活用により、木造密集地域の改善に向けた取り組みを進めてきた。今年度、東京都が推進する不燃化特区制度を導入し、不燃化のまちづくりを加速させたいと考えているとのこと。これまでの住宅市街地総合整備事業の実績として、平成24年に杉並第六小学校東側馬橋通りの拡幅整備を実施したほか、沿道部分についても、現在交渉中のものが4件あり、うち1件については、今年度取得予定とのこと。狭あい道路の拡幅整備状況については、平成25年までに約352平米、整備延長としては、約180メートルを整備済みとのこと。

また、この地区の不燃化率は、平成25年度末で54%であり、防災まちづく

り計画が策定された平成21年度の50.5%から、3.5%増加したとのこと。

また、不燃化特区制度については、老朽建築物の除却費の一部助成や最大5年間の固定資産税・都市計画税の減免等、5項目の支援制度を設けたとのこと。今後、当面は制度説明等のため不燃化特区対象区域内の全戸を訪問することや、馬橋通りの拡幅整備を中心的に進めるとのこと。

オ 平成26年度杉並区合同水防訓練の開催結果について

参加者は236名であったとのこと。中学生レスキュー隊や東京消防庁、災害時支援ボランティア、地域住民、消防団、消防署、区職員も含め、訓練に取り組み、それぞれの役割や相互の連携の確認と水防活動の習熟を図ることができたと考えているとのこと。

以上のとおり、5件の報告を聴取し、質疑応答を行いました。

(3) 6月13日

正副委員長の互選を行った。その結果、委員長には富田たく委員、副委員長には今井ひろし委員がそれぞれ選出された。

(4) 7月30日

第52回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会に参加するため、以下の場所に委員を派遣した。

日本青年館大ホール（新宿区霞ヶ丘7番1号）

以上